

## JEMEA 活動報告



# 第 10 回 JEMEA シンポジウム報告

## Report on the 10<sup>th</sup> JEMEA Symposium

東北大学大学院環境科学研究科 吉川 昇

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-02

e-mail: yoshin@tohoku.ac.jp

2016年10月12日から14日まで、仙台において「第10回JEMEAシンポジウム」が開催された。2006年にJEMEAが発足し、第1回目のシンポジウムが2007年9月に仙台市戦災復興記念館で開催されて以来、9年目の第10回と言う事になる。9年前は町中の会場が選ばれたが、今回はJR仙台駅よりショートコース会場である東北大学農学研究科(雨宮キャンパス)へ地下鉄南北線、またシンポジウム会場である東北大学工学研究科(青葉山東キャンパス)へは昨年12月に開通した地下鉄東西線を利用すれば、簡単にアクセスできるようになった。

ショートコースは10月12日に、「生化学・食品への電磁波エネルギーの照射」と題して行なわれ、産総研清水弘樹氏、京大三谷友彦氏、東北大佐藤実氏による講演が行われた。その後、農学研究科電磁波高度利用研究室の見学会を行なった。その際、電磁波解凍による鯨、マグロの試食も行なわれ、58名の参加により好評を博した(図1)。シンポジウムは10月13、14日に開催された。工学研究科のカタールサイエンスキャンパスホールをA会場、青葉記念会館4階大研修室をB会場、青葉記念館1階ロビーをポスター展示場、そしてカタールホールホワイエを企業に依る機器展示として利用した。カタールホールとは、中東のカタール国による東日本大震災の復興支援のための基金により、サイエンスキャンパスを実行するために作られた専用ホールである。

今回、工学研究科および農学研究科からの共催により上述の会場を使用できた上に、青葉工学振興会からの助成を得る事ができた。その他、学会や団体からの9件の協賛を得ている。機器展示は13社のブース出展、広告は5社からご協力をいただいた

シンポジウムにおいては、東北大学大学院環境科学研究科長 吉岡敏明氏、東北アジア研究センター教授 佐藤源之氏、大阪大学 特任准教授・マイクロ波化学(株) 取締役 CSO 塚原保徳氏らによる特別講演(図2)、中部大学講師 樫村京一郎氏によるJEMEA進歩賞受賞記念特別講演、そして毎年恒例の機器展示企業によるプレゼンテーションがあった。一般講演52件、ポスター発表18件が登録された。参加人数は、シンポジウム172名、ショートコースのみ参加9名で合計181名となった。懇親会も青葉山東キャンパス内の生協DOCKにて行なわれ、75名の参加を頂き、会員の親睦を高める事ができた。樫村氏より、来年度のシンポジウムが名古屋地区において開催される予定である事がアナウンスされた。三陸の魚貝や仙台名物である牛タンがその場で焼いて振るまわれたり、ずんだ餅なども特別メニューとして加えられ、参加者を喜ばせた。

このように和やかなムードの中、シンポジウムを成功裡に終了する事ができた。

本シンポジウムでは、JEMEA および JEMEA 関連企業を宣伝する目的から、ポスター会場と機器展示会場を一般に公開した。また企業の宣伝ビデオ等を編集し、カタールホールに設備されている 90 インチモニターで常時上映された(図 3)。今後のシンポジウムでも企業による展示はもとより、ビデオでの積極的な参加を促す事ができたのではないと思われる。

その他、紹介すべき事として、(有)ミネルバライトラボ・JEMEA 顧問の松村竹子氏により、渉外活動 WG においてこれまで被災地(石巻)で行なって来た電子レンジを用いた実験が披露された。また(株)エスイーの滝沢力氏によるマイクロ波可視化ソフトウェア VMW に関するワークショップが行なわれた。中部大 佐藤元泰氏のインドにおけるマイクロ波製鉄に関する講演は急に参加が不可能となったため、インドからスカイプを通じて講演が行われた(図 4)。いくつかのトラブルがあったが、最終的には当人やパワーポイントプレゼン画面を出す事ができ、講演会場からの質疑応答をリアルタイムで行なう事ができた。今回 A、B 会場の間にやや距離があったため、当初は中継を行なう事を計画していた。限られた予算の中では実現できなかったが、今後 IT などを駆使して多様な講演大会を企画して行くための引き金になったと期待している。

最後に、多忙な毎日の中で、今回のシンポジウムの運営や多くの作業を行なって頂いた現地実行委員の努力や、JEMEA 事務局佐藤容子氏の献身的な貢献に感謝するものである。



図 1 : ショートコース見学会における試食      図 2 : カタールホールにおける特別講演(塚原氏)  
 図 3 : 90 インチディスプレイによるビデオ上映      図 4 : スカイプに依るインドから講演